## 平成31年度当初予算 予算要求シート

施策番号

3つの挑戦

マスター: 事業区分: 新規•拡充 局•課名: 消防局•通信指令課 プラン 1-7 平成29年度決算額 平成30年度予算額 平成31年度要求額 事業名 消防行政統合システム整備事業 事業費(千円) 748.648 208.111 1.894.727 期間 要求額(千円) 【目的】 債務負担行為 消防行政統合システムのソフトウエア、ハード機器を適正に H ~ H 保守管理及び更新することにより、システムの常時安定稼働 主な要求内容 (単位:千円) を確保し、かつ、災害通報受信時において迅速な消防部隊 項目 30年度予算 31年度要求額 内容•積算等 の出場により現場到着時間の短縮を図るとともに、映像情報 保守管理等委託料 103,762 システム保守点検等 113.263 の活用により消防部隊の早期増強体制を構築することで、災 13,992 指令機能の一部改修等 システム改修費 10,310 害等による被害の軽減を実現することを目的とする。 システム機器賃借料 50,221 クライアント端末リース料等 37,880 【内容】 通信運搬費 8.304 9.830 前進基地局アプローチ回線等 設備購入費 1,595,000 更新設備費 574,301 アスベスト含有調査業務 2.463 設備更新に伴う調査業務 4,590 消防行政統合システムは、通信指令総合システム、支援情 衛星地球局更新業務 118,200 衛星地球局更新 報(警防・予防)システム、画像伝送システム、その他消防業 事業 務システムで構成され、24時間体制の消防業務を完遂する 1,259 謝礼金外 その他 ために常時安定稼働が求められるシステムである。 この重要なシステムの保守管理を適切に行い、安定稼働を 概要 維持するとともに、一定周期において、ソフトウエアの見直し 合計 748.648 1.894.727 と、ハード機器の一部または全部を更新することにより、最新 スケジュール(経過及び今後展開) のICT技術を反映させた効率的で信頼性の高いシステムを 【経過(~30年度)】 【31年度】 【今後予定(32年度~)】 担保する。 平成29年度に総合評価方式に 新消防行政統合システムの構築 システムの安定稼働の継 より構築ベンダーを決定し、平成 |を完成させ、新システムの安定稼|続。 防災センターの一拠 30年度から31年度にかけ、新 働を図る。衛星地球局を更新す 点化など。 【今年度要求のポイント】 消防行政統合システムの構築する。 その他 特記事項 新消防行政統合システムの平成31年度構築完成及び衛星 関連事業: 地球局の更新にかかる経費の予算要求を行う。

整理番号 : 90 - 1 - 0040